

科目名 Course Name	起業家教育連続講座 Continuing Entrepreneurial Education			ナンバリング No.	C2-009		
年次	1 年	期別	後期	単位数	2 単位	授業形態	講義
担当者氏名	長江 庸泰						
連絡方法	C ラーニングにて対応、オフィスアワー:研究室 月～木曜 (授業・会議時間を除く)						
必修/選択	選択						
関連 DP	DP2,DP3,DP5						
授業の概要と到達目標	<p>本授業では、新聞記事など時事問題を題材にし、講義とディスカッションを軸に、まず経営を取り巻く日本と世界のマクロ経済について学んだ後、現代の企業経営の実情、個別企業のケーススタディーを通じて、経営の本質を学ぶと共に、産学連携による外部招聘講師による連続講義を通して、「市民としての起業家マインド」、「アントレプレナーシップ」、「変化を起こす力」等の学修を通して「起業家スキルに根ざした、新たな価値の創造」を目指す学習体系である。</p> <p>起業家マインドが拓く未来を目指して、</p> <p>①「市民としての起業家マインド」を習得できるようにする。</p> <p>②「アントレプレナーシップ」を習得できるようにする。</p> <p>③「変化を起こす力の拡大」を習得できるようにする。</p>						
授業の方法	本授業は、講義、マルチメディア授業、デジタルテキスト、プレゼンテーション、ディスカッション、グループワーク等を活用しながら、「起業家マインド」を発揮出来、起業に精通した人材育成を目指すものである。						
学習成果	L01						
	L02						
	L03	新聞記事など時事問題を題材にし、講義とディスカッションを軸に①「市民としての起業家マインド」、②「アントレプレナーシップ」、③「変化を起こす力の拡大」、等の知識・概念に習熟し、1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニングをビジネスシーンにおいて活用できる。					
	L04						
課題に対するフィードバック	小テスト・期末試験等の解答を示し、結果は個別にフィードバックする。						
教科書/参考図書	長江庸泰作成の“デジタルテキスト[起業家教育連続講義 2022 年度版]”を活用する。/ 大学生に知ってほしい 日本経済の今とこれから 社会に出るその前に(エイデル研究所)						
履修上の留意点やルール等	事前・事後学習各回 180 分、本学の教育理念(想う人、考える人、行う人を創る)を体現する自主創造の教えを基に、「1)常に疑問を持ち、2)物事を多面的に考え抜きながら、3)自分で調べ・学ぶ、課題解決型のアクティブラーニング」を常に心掛けること。						
担当教員の実務経験	●実務経験(職種:会社役員 職歴:42 年)、実務経験を起業の実践面と学習・説明等で活用する。						

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	以下の 3 点から評価する:①ノートに関し、創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。S 評価の基準:上記参加態度を全て満たすもの。			10	
レポート/作品	S のレポートの評価:①創意工夫してまとめられている、②自分の意見を論理的に展開している、③課題の本質と学習成果が十分にまとめられている。レポート最新課題は、月 1 回計 3 回提出予定(締切は各月末)。			30	
発表	S のレポート発表評価:①創意工夫した発表となっている、②自分の意見をまとめながら論理的に述べている、③積極的に質疑応答に臨んでいる。			20	

佐野日本大学短期大学 2022 年度シラバス

小テスト	毎時間実施。成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
試験	16週目に実施。成績評価:S(傑出した内容)=90-100、A(平均を上回る内容)=80-89、B(平均的内容)=70-79、C(平均を下回る内容)=60-69、D(左記以外の内容)=0-59			20	
その他					
合 計				100	

回数		授業計画
1	授業内容	授業ガイダンス:本授業の進め方と学び方/レポート課題説明と出題の解説、シラバスを読んでおき、各授業に関する質問事項等を考えておくこと。 経営時事問題とは(イントロダクション)
	事前・事後学習	事前学習(上記質問事項等を準備しておくこと)・事後学習(ノートを整理しながら、自分で調べ・学ぶ姿勢を身につけること)。
2	授業内容	経営を取り巻くマクロ環境を理解する①(企業経営と株主)・事例研究「市民としての起業家マインド」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション[当日、講義内容のシラバスをデジタル配信します、以下、同]/レポート課題説明と出題。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
3	授業内容	経営を取り巻くマクロ環境を理解する②(企業経営と従業員)・事例研究「市民としての起業家マインド」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
4	授業内容	経営を取り巻くマクロ環境を理解する③(企業経営と政治)・事例研究「アントレプレナーシップ」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
5	授業内容	経営を取り巻くマクロ環境を理解する④(企業経営と税金)・事例研究「アントレプレナーシップ」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション/グループワークによるプレゼン(1)
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
6	授業内容	経営を取り巻くマクロ環境を理解する⑤(企業経営と国際問題)・事例研究「変化を起こす力の拡大」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション/レポート課題説明と出題。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
7	授業内容	経営を取り巻くマクロ環境を理解する⑥(マクロまとめ)・事例研究「変化を起こす力の拡大」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
8	授業内容	現代の経営の実情を知る①(法人税について考える)・事例研究「果敢に挑戦する組織」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
9	授業内容	現代の経営の実情を知る②(自由貿易について考える)・事例研究「果敢に挑戦する組織」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
10	授業内容	現代の経営の実情を知る③(M&Aについて考える)・事例研究「起業家マインドで創る“躍動する佐野市”」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
11	授業内容	現代の経営の実情を知る④(終身雇用について考える)・事例研究「起業家マインドで創る“躍動する佐野市”」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション/グループワークによるプレゼン(2)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。

12	授業内容	現代の経営の実情を知る⑤(環境と経営について考える)・事例研究「起業家スキルとは何か」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション/レポート課題説明と出題。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
13	授業内容	現代の経営の実情を知る⑥(株価について考える)・事例研究「起業家スキルとは何か」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
14	授業内容	前期まとめ①・事例研究「新たな価値の創造」①一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。
15	授業内容	前期まとめ②・事例研究「新たな価値の創造」②一般社団法人 佐野青年会議所派遣講師等による講義とグループディスカッション/グループワークによるプレゼン(3)。
	事前・事後学習	上記の質問事項等の準備とノートの事後整理学習。